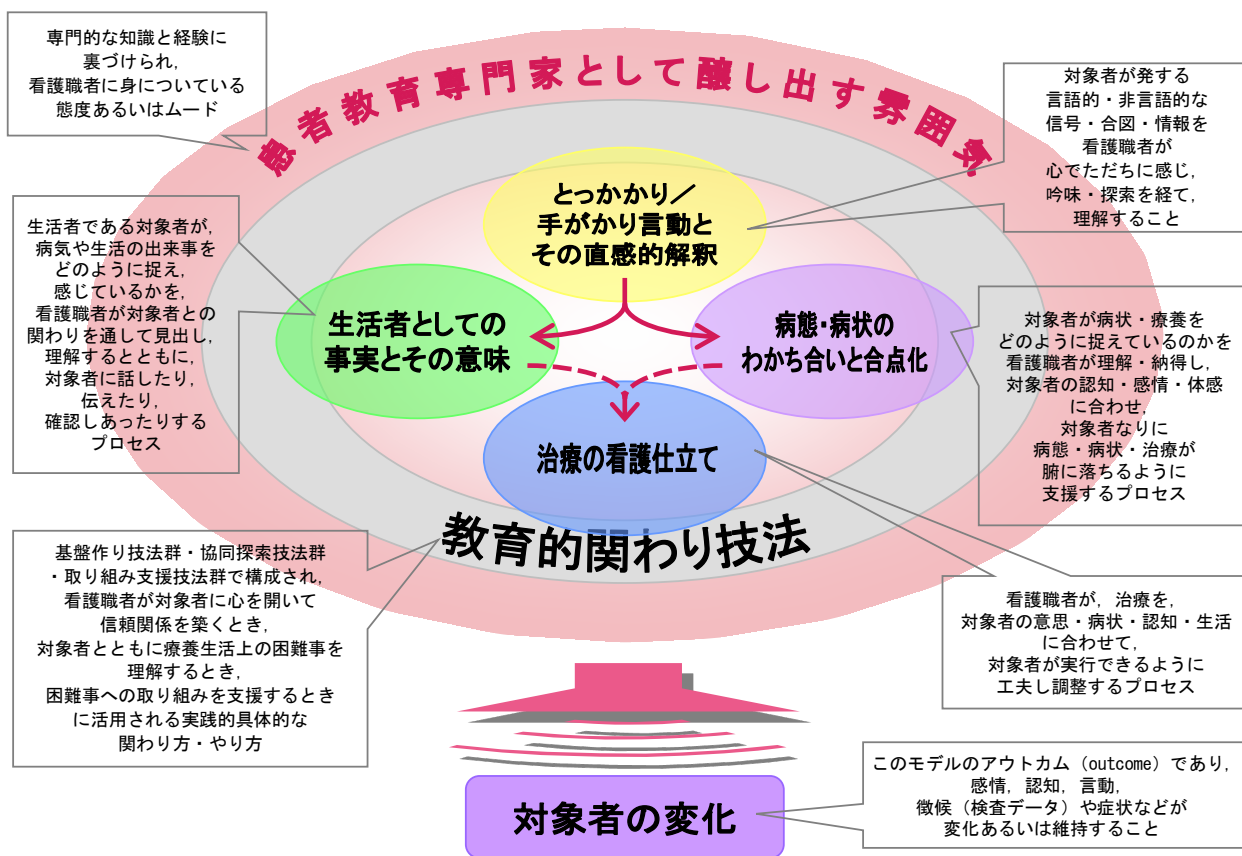


## 「看護の教育的関わり モデル」における 「とっかかり/手がかり言動と その直感的解釈」の概念化

患者教育研究会代表：河口てる子<sup>1</sup>

メンバー：小長谷百絵<sup>2</sup>、横山悦子<sup>3</sup>、小林貴子<sup>4</sup>、小平京子<sup>5</sup>、伊藤ひろみ<sup>6</sup>、大池美也子<sup>7</sup>、林優子<sup>8</sup>、岡美智代<sup>9</sup>、伊波早苗<sup>10</sup>、  
太田美帆<sup>11</sup>、安酸史子<sup>8</sup>、近藤ふさえ<sup>3</sup>、東めぐみ<sup>1</sup>、井上智恵<sup>12</sup>、大澤栄実<sup>13</sup>、小田和美<sup>14</sup>、道面千恵子<sup>15</sup>

<sup>1</sup>日本赤十字北海道看護大学, <sup>2</sup>上智大学総合人間科学部看護学科, <sup>3</sup>順天堂大学保健看護学部, <sup>4</sup>横浜創英大学看護学部, <sup>5</sup>関西看護医療大学看護学部,  
<sup>6</sup>元砂川市立病院, <sup>7</sup>国際医療福祉大学福岡看護学部, <sup>8</sup>関西医科大学看護学部, <sup>9</sup>群馬大学大学院保健学研究科, <sup>10</sup>草津総合病院,  
<sup>11</sup>東京家政大学健康科学部看護学科, <sup>12</sup>大阪医科大学附属病院, <sup>13</sup>独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター,  
<sup>14</sup>札幌市立大学看護学部, <sup>15</sup>九州大学大学院医学研究院保健学部門



### 看護の教育的関わりモデル Version 8.0 (通称:TKモデル)

#### 看護の教育的関わりモデル Version 8.0 (通称:TKモデル)

「看護の教育的関わりモデル」とは、看護職者が、医学・医療の専門的な判断をしながら、いかなる状況においても対象者の価値観や信念に添いつけようとする、看護職者の直感・認知・行為を説明した患者教育実践の概念モデルである。それは、看護のあらゆる場面、機会を活用して、対象者の生活習慣やこだわりを傾け、生活者としての価値観を尊重し、病態・病状を納得できるように支援しながら、対象者とともに療養方法を見出し、時には治療をその人の生活習慣に引き寄せるように調整するなどの看護実践を示している。

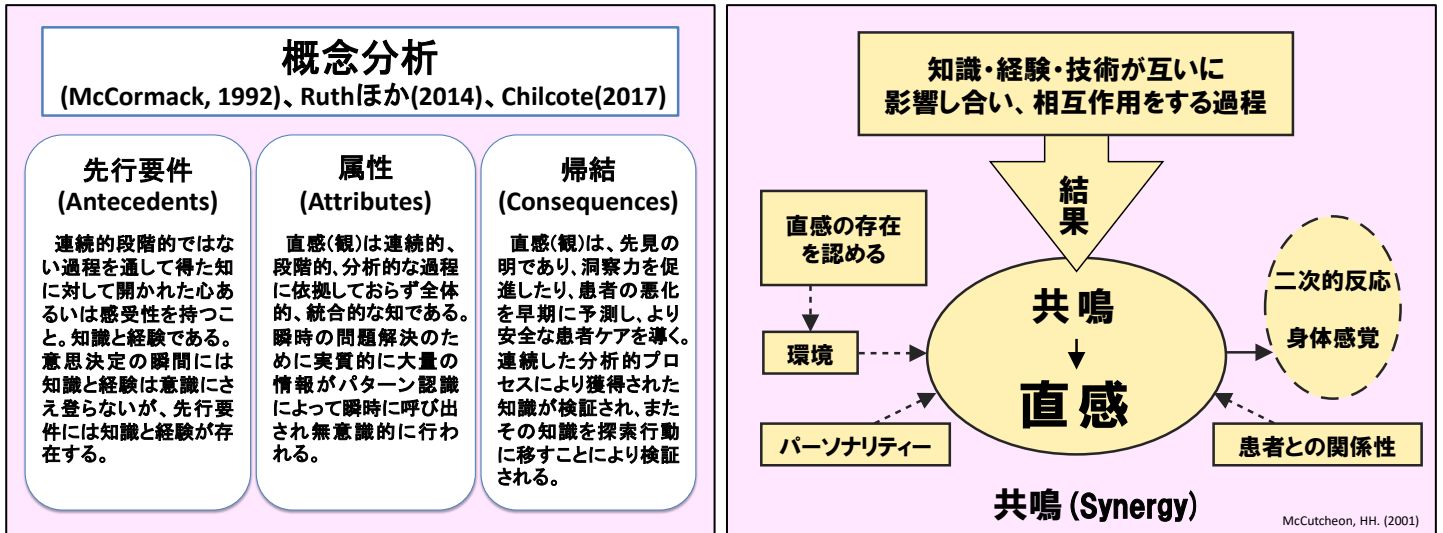


表1 文献の内容による分類

内容	著者・年		
看護師の「直感(観)/intuition」による臨床判断	直感(観)の創生	Carper, B. (1978), Dreyfus HL., Dreyfus SE. (1986) Benner, P., Tanner, C. (1987) Pyles, Stern, P. (1983)	
	直感(観)的理解の特徴	Pyles, Stern, P. (1983) Rew, L. (1986) Watkins, M., Bryan, B. (1993) Welsh, I., Lyons, CM. (2001)	
	直感(観)定義	McCutcheon, HH., Pincombe, J. (2001)	
	ナースの直感(観)	泉キヨ子ほか(2006) 林みよ子ほか(2012) 川原由佳里ほか(1996) 野崎真奈美(2007)	
	看護の科学としての直感(観)/intuition	直感(観)の科学性への批判	English, I. (1993) Benner, P., Tanner, C. (1987) Buckingham, C., Adams, A. (2000) Jenks, JM. (1993)
		直感(観)は科学ではないという見解への反論	Cioffi, J. (1997) Effken, JA. (2001) Effken, JA. (2001) Gibson, JJ. (1966) Gibson, JJ. (1986)
		「直感(観)」の測定用具の開発	Smith, A.J., Thurkettle, M. A. (2004)J Hassani, P., Abdi, A., Jalali, R., Salari, N., (2017)
		「直感(観)/intuition」の概念分析	Ruth ほか(2014) Deborah R(2017) McCormack(1992)